

刈谷と聖火リレー

東京2020オリンピック聖火リレーのコースとなった刈谷市。1964年に東京で行われた第18回オリンピック競技大会でも刈谷市は聖火リレーのコースとなりました。今回の特集では、当時の刈谷の盛り上がり伝えるとともに、4月7日の聖火リレーの概要を紹介します。

1 聖火リレーに向けて 盛り上がる刈谷

昭和39年7月31日、市役所大会議室で開催された聖火リレー刈谷地区コース走者結団式では、走者紹介、市長の激励、誓いの言葉などが行われました。

同年9月1日に正走者に委嘱状が交付されて以降、「西三河地区聖火リレーリハーサル」、「聖火を迎える青少年の集い」など聖火リレーに向けての準備が進められました。

聖火リレー一番直前の9月30日には市体育協会、市婦人
会連絡協議会、市子供会育成連絡協議会主催で「聖火歓迎
刈谷地区少年の集い」が行われ、キャンプファイヤー、模
擬聖火リレー、民謡、東京オリンピック音頭などで機運を
高めていきました。



▲聖火歓迎刈谷地区少年の集いの様子

2 刈谷を駆け抜けた聖火

昭和39年10月3日10時38分、聖火リレースタート。刈谷市は第37区(富士松支所前～今岡バス停前)と第38区(今岡バス停前～知立ドライブイン前)の2区間がコースとなっていました。

第37区は、正走者の澤辺泉二さん（豊田工機㈱・当時20歳）を先頭に2人の副走者、20人の随走者を引き連れ約1.5kmを完走。

第38区は、正走者の佐野正さん（刈谷高校・当時18歳）を先頭に2人の副走者、20人の随走者を引き連れ約1.1kmを完走しました。

このコースは、現在の国道1号線を知立方面に向かって走るものでした。



▲第37区と第38区の聖火の受け渡し

3 日本中を駆け回り、東京へ

国内における聖火リレーは全都道府県を回ることを前提に4つのコースに決定されました。この4コースの空輸総距離は2,692km、地上リレー総距離6,755km（リレー総区間4,374区間）、参加リレー走者は10万713人と記録されており、10月10日14時35分から、皇居前から国立競技場までの6.5kmの最終聖火リレーが行なわれました。

15時3分、10万713人目のリレー走者である坂井義則氏の右手に掲げられた聖火が国立競技場に到着。バックスタンド中央の163段の階段を登りきった坂井氏により聖火台へ点火が行なわれ、五輪は開幕へと向かいました。

©2020 JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE

4) 国民に感動を与えた東京五輪

1964年10月10日から24日の15日間開催された東京五輪。東京を中心に、埼玉県、神奈川県、千葉県、長野県でも競技が行われ、93の国と地域から5,152人が一堂に会しました。また、日本からは355人の選手が参加しました。

五輪では、20競技163種目が実施され、日本は金メダル16個、銀メダル5個、銅メダル8個と強豪ひしめく世界選手たちと対等に渡り合い、過去最高の成績を残しました。

©2020 JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE

歷史博物館三二企画展

思い出の一九六四
～聖火が刈谷を駆けぬけた日～

時 3月24日(火)～4月12日(日)(休月曜)

半世紀前に刈谷の地を駆け抜けた聖火リレーの様子や、当時の刈谷の人々と五輪とのつながりを紹介します。五輪の起源・歴史をはじめ、五輪にまつわる品々を展示します。



▲個人蔵
第18回オリンピック
東京大会蹴球競技
プログラム

問 歷史博物館(☎63-6100)

◀個人蔵
第18回オリンピック
東京大会蹴球競技入場券



東京1964大会を
語り抜けた聖火ランナ

聖火リレーを振り返る



澤辺泉二さん (76歳)
現在、市陸上競技連盟会
長。日本陸連S級公認審判員。

刈谷で育ち、豊田工機株へ勤めている時に聖火リレーの正走者には選ばれました。私自身、刈谷高校で陸上をやっており、東海大会への出場経験があります。しかし、当時は全国大会に出場していた先輩もいたので、年齢制限などの条件が重なり選ばれたのではないかと思います。

選ばれた時は、兄が国体旗リレーや第3回アジア大会の炬火リレーに出していたこともあり「次は自分の番だ」という思いしかありませんでした。以降、手作りでトーチを作ったり、雨の日にも走ったりして練習を重ね、リハーサル、リレー本番へと向かっていきました。

当日は、先導車のペースが速く、「とにかく速く走らないと」という思い

で走っていました。そのため、リレー中の記憶がほとんどありません。そんな中、記憶に残っているのが、聖火の受け渡しの瞬間です。トーチを差し出すときに、緊張と力が入りすぎていたことから腕が動かず、次の走者である佐野さんになんとか受け渡せたことは今でも鮮明に覚えています。

半世紀が経ち、刈谷で2度目の聖火リレーが行われるにあたって、次は観客として見に行ってみようと思えます。